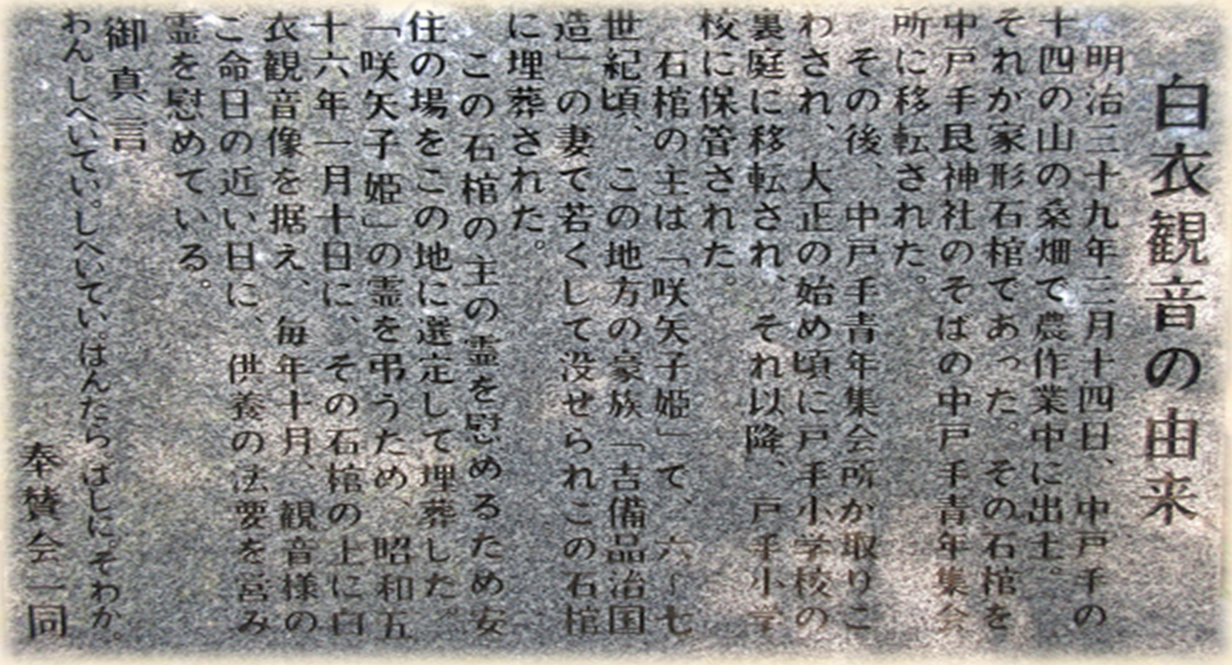
-2021 年度-

《 白衣観音例祭 》

10 月 2 日(日)に、新市町の「安養寺」にて法要が行われました。

今年も校長先生，教頭先生，葉櫻会，PTA役員の方々が参列し，住職さんと一緒にお経を唱え，戸手小学校の安全をお祈りしました



白衣観音の由来

明治三十九年三月十四日、中戸手の十四の山の桑畑で農作業中に出土。それが家形石棺であった。その石棺を中戸手艮神社のそばの中戸手青年集会所に移転された。

その後、中戸手青年集会所が取りこわされ、大正の始め頃に戸手小学校の裏庭に移転され、それ以降、戸手小学校に保管された。

石棺の主は「咲矢子姫」で、六～七世紀頃、この地方の豪族「吉備品治国造」の妻で若くして没せられこの石棺に埋葬された。

この石棺の主の霊を慰めるため安住の場をこの地に選定して埋葬した。「咲矢子姫」の霊を弔うため、昭和五十六年一月十日に、その石棺の上に白衣観音像を据え、毎年十月、観音様のご命日の近い日に、供養の法要を営み霊を慰めている。

御真言

わんしべいていしべいていはんたらはしにそわか。

奉賛会一同

ご参列いただき，ありがとう御座いました。